

## 第 6 回 E M F 国 際 エ ン ジ ニ ア 登 録 更 新 ・ 申 請 書 作 成 の 手 引 き ( 技 術 士 向 け )

### 1. 今回の申請対象者

- (1) EMF 国際エンジニアの登録有効期限が2011年3月31日までの方。
  - (2) 今回登録更新を行う EMF 国際エンジニアの登録の前提としている APEC エンジニアの登録更新申請を同時に行う方。( EMF 国際エンジニアのみの登録更新はできません )
  - (3) APEC エンジニアと EMF 国際エンジニアの双方に登録していたが、共に登録更新をせず、両方とも登録が失効した方。  
なお、失効した EMF 国際エンジニアの申請の前提とした APEC エンジニアの再登録手続きと同時に、EMF 国際エンジニアの再登録手続きを行うことが必要です。
- (注) 更新申請時に技術士資格を喪失している場合は、申請できません。

### 2. 登録更新の申請方法

- (1) 受付期間：2010年9月1日(水)～2010年11月30日(火) (締切日の消印有効)
- (2) 申請方法：  
更新申請者は、下記 ～ の書類を(社)日本技術士会宛(別表1)に簡易書留にて郵送して下さい。

EMF 国際エンジニア登録更新申請書 必要事項を記載のうえ、自署して下さい。

更新申請様式 (具体的には英文のForm 1 General と、和文の様式1 一般事項等の書式を指します。)

- 1) 英文のForm 1 General と、和文の様式1 一般事項等を両方とも提出して下さい。
  - 2) 顔写真は、縦4 cm、横3 cm、無帽、無背景で正面から上3 分身を写した証明写真で、申請日の前3 ヶ月以内に撮影されたものを、英文、和文申請書の各々の欄に貼付して下さい。なお、写真の裏には氏名と生年月日の記入をお願いします。  
・デジタルカメラで撮影した写真を、Word のフォームに挿入して本文と一緒に印刷したものを提出しないで下さい。
  - 3) 「申請区分」は ☒更新 / Renewal にチェックを入れて下さい。
  - 4) 技術士登録番号は、要件確認の重要な項目ですので間違いのないよう確認して下さい。
  - 5) 「技術部門」は現行の技術部門の名称を記載して下さい。
  - 6) 「選択科目」は申請者が第二次試験に合格した当時の名称を記載して下さい。
  - 7) 「取得」欄の年\_月は、技術士の登録年月を記入して下さい。また、追加の技術部門、選択科目がある場合はその追加登録の年月を記入して下さい。
  - 8) Form 1 General (英文) の書式のうちTechnical Discipline およびOptional Subject 欄に記載する技術部門、選択科目の英訳は【参考1】を参照して記述して下さい。
  - 9) 「APECエンジニア欄」には、今回登録更新を行うEMF国際エンジニアの前提としているAPECエンジニアについて記入して下さい。
- (注) CPD 記録シート・技術士業務記録については、登録更新を行う EMF 国際エンジニアの登録の前提としている APEC エンジニアの登録更新申請に提出されたデータを使用しますので、EMF 国際エンジニアの登録更新申請においては提出不要です。

#### 登録更新手数料振込み控えの写し

- ・登録更新手数料については、「3. 登録更新手数料」を参照して下さい。
- ・振込み用紙は、銀行・郵便局窓口に備え付けの用紙を使って下さい。
- ・振込み控えをコピーして、コピーした方を提出して下さい。
- ・事務局は領収証を発行しません。

(注) APEC エンジニアの登録更新申請書類と EMF 国際エンジニアの登録更新申請書類とは同一の封筒に入れて送っていただいても結構です。その場合の宛先は下記の様に「日本 APEC エンジニア・モニタリング委員会事務局」と「EMF エンジニア・モニタリング委員会事務局」とを併記して下さい。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル8階  
 社団法人 日本技術士会内  
 日本 APEC エンジニア・モニタリング委員会事務局「更新申請」 }  
 EMF エンジニア・モニタリング委員会事務局「更新申請」 } ← 宛先を併記  
 Tel : 03-3459-1331 Fax : 03-3459-1338

### 3. 登録更新手数料

- (1) 更新にあたっては、登録更新手数料(7,350 円税込み)を申し受けます。  
 なお、更新の場合の審査手数料は不要です。
- (2) 登録更新手数料は郵便振替又は銀行振込にて下記振込先に前納して下さい。振込み控えの写しを申請時に申請書類の中に同封して下さい。(振込手数料は申請者負担となります。)

(別表1)

申請書類の送付先	登録更新手数料の振込先
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル8階 社団法人 日本技術士会内 EMF エンジニア・モニタリング委員会事務局 Tel : 03-3459-1331 Fax : 03-3459-1338	郵便振替口座 口座番号: 00120 - 4 - 373573 口座名義: EMF(社)日本技術士会 みずほ銀行 神谷町支店 口座番号: 普通預金 1147182 口座名義: 社団法人日本技術士会

### 4. 更新結果の連絡

- (1) 更新結果は2011年3月下旬頃に(社)日本技術士会ホームページにて発表します。
- (2) 更新の要件を満たす場合は、EMF国際エンジニア登録証を発行します。
- (3) 更新の要件を満たしていない場合には、その理由を付して通知します。なお、不服の申し立ては1ヶ月以内に受付けます。

### 5. 登録有効期間

更新後の登録有効期間は、登録更新を行うEMF国際エンジニアの登録の前提としているAPECエンジニアの登録更新後の有効期間と同一(2011年4月1日～2016年3月31日)となる予定です。

なお、APEC エンジニアの登録が取り消された場合、EMF 国際エンジニアの登録も取り消されます。

(注) APEC エンジニア登録更新申請をされなかった場合の再登録手続-登録有効期限後1年以内の場合で、過去6年間300CPD 時間を申請することにより有効期限の満了日の翌日まで遡って APEC エンジニアの登録を継続された場合の有効期間は上記と異なります。詳しくは事務局までお問合せ下さい。

以 上

技術士技術部門と選択科目の英訳

(現在の選択科目 : 2009 年 11 月 日本技術士会国際委員会理事会報告版)

Technical Disciplines	選択科目	Optional Subjects
1.Mechanical Engineering (機械部門)	機械設計	Mechanical Design Engineering
	材料力学	Strength of Materials
	機械力学・制御	Mechanical Dynamics & Control
	動力エネルギー	Power Engineering
	熱工学	Thermal Engineering
	流体工学	Fluid Engineering
	加工・ファクトリーオートメーション 及び産業機械	Processing, Factory Automation & Industrial Machinery
	交通・物流機械及び建設機械	Traffic, Logistics Machinery & Construction Machinery
	ロボット	Robot
	情報・精密機器	Information Precision Equipment
2.Marine & Ocean (船舶・海洋部門)	船舶	Naval Architecture
	海洋空間利用	<a href="#">Ocean &amp; Offshore Engineering</a>
	船用機器	Marine Equipment
3.Aerospace (航空・宇宙部門)	機体システム	Aerospace System
	航行援助施設	Aerospace Navigation
	宇宙環境利用	<a href="#">Space Environment Utilization</a>
4.Electrical & Electronics Engineering (電気電子部門)	発送配変電	<a href="#">Electrical Power Supply &amp; Distribution Systems</a>
	電気応用	<a href="#">Electric Power Applications</a>
	電子応用	<a href="#">Electronics Applications</a>
	情報通信	Information & Communication
	電気設備	<a href="#">Electrical Installations of Buildings</a>
5.Chemistry (化学部門)	セラミックス及び無機化学製品	Ceramics & Inorganic Chemical Products
	有機化学製品	Organic Chemical Products
	燃料及び潤滑油	Fuel & Lubricating Oil
	高分子製品	Polymer Products
	化学装置及び設備	Chemical Engineering
6.Textiles (繊維部門)	紡糸、加工系の方法及び設備	<a href="#">Fiber Spinning &amp; Texturing</a>
	紡績及び製布	Yarn spinning & Fabric Manufacturing
	繊維加工	<a href="#">Finishing &amp; Chemical Treating</a>
	繊維二次製品の製造及び評価	Sewing, Manufacturing & Evaluation of Textile Products
7.Metals (金属部門)	鉄鋼生産システム	Iron & Steel Manufacturing System
	非鉄生産システム	Nonferrous Metals Manufacturing System
	金属材料	Metallic Materials
	表面技術	<a href="#">Metal Surface Treatment</a>
	金属加工	Metal Working

8.Mining (資源工学部門)	固体資源の開発及び生産	Development and Production of Solid Resources
	流体資源の開発及び生産	Development and Production of Liquid Resources
	資源循環及び環境	Resources Recycling and Environmental Conservation
9.Civil Engineering (建設部門)	土質及び基礎	<a href="#">Soil Mechanics &amp; Foundation</a>
	鋼構造及びコンクリート	<a href="#">Materials &amp; Structures</a>
	都市及び地方計画	<a href="#">Urban &amp; Regional Planning</a>
	河川、砂防及び海岸・海洋	<a href="#">River, Coastal &amp; Ocean Engineering</a>
	港湾及び空港	<a href="#">Port, Harbor &amp; Airport Engineering</a>
	電力土木	<a href="#">Electric Power Civil Engineering</a>
	道路	<a href="#">Road Engineering</a>
	鉄道	<a href="#">Railway Engineering</a>
	トンネル	<a href="#">Tunnel Engineering</a>
	施工計画、施工設備及び積算	<a href="#">Construction Planning, Management &amp; Cost Estimates</a>
	建設環境	<a href="#">Environmental Assessment &amp; Management for Construction</a>
10.Water Supply & Sewerage (上下水道部門)	上水道及び工業用水道	Water Supply & Industrial Water Supply
	下水道	Sewerage
	水道環境	<a href="#">Water Resource Environment</a>
11.Environmental Engineering (衛生工学部門)	大気管理	<a href="#">Air Quality Management</a>
	水質管理	<a href="#">Water Quality Management</a>
	廃棄物管理	Waste Management
	空気調和	Air Conditioning
	建築環境	<a href="#">Building Utilities</a>
12.Agriculture (農業部門)	畜産	Animal Industry
	農芸化学	Agricultural Chemistry
	農業土木	<a href="#">Irrigation, Drainage &amp; Rural Engineering</a>
	農業及び蚕糸	Agriculture & Sericulture
	農村地域計画	<a href="#">Rural Development Planning</a>
	農村環境	Rural Environment
	植物保護	Plant Protection
13.Forest (森林部門)	林業	Forestry
	森林土木	Forest Civil Engineering
	林産	Forest Products
	森林環境	Forest Environment
14.Fisheries (水産部門)	漁業及び増養殖	<a href="#">Fisheries &amp; Aquaculture</a>
	水産加工	Fish Processing
	水産土木	Fisheries Civil Engineering
	水産水域環境	<a href="#">Aquatic Environment</a>

15.Industrial Engineering (経営工学部門)	生産マネジメント	Production Management
	サービスマネジメント	Service Management
	ロジスティクス	Logistics & Packaging Technology
	数理・情報	Mathematical & Information Technology
	金融工学	Financial Engineering
16.Information Engineering (情報工学部門)	コンピュータ工学	Computer Engineering
	ソフトウェア工学	Software Engineering
	情報システム・データ工学	Information System & Data Engineering
	情報ネットワーク	Information Network Engineering
17.Applied Science (応用理学部門)	物理及び化学	Physics & Chemistry
	地球物理及び地球化学	Geophysics & Geochemistry
	地質	Geology
18. <a href="#">Biotechnology &amp; Bioengineering</a> (生物工学部門)	細胞遺伝子工学	<a href="#">Biotechnology</a>
	生物化学工学	Biochemical Engineering
	生物環境工学	<a href="#">Environmental Bioengineering</a>
19.Environment (環境部門)	環境保全計画	Environmental Conservation Planning
	環境測定	Environmental Measurement
	自然環境保全	<a href="#">Natural Environment Conservation</a>
	環境影響評価	Environmental Impact Assessment
20.Nuclear & Radiation (原子力・放射線部門)	原子炉システムの設計及び建設	<a href="#">Nuclear Reactor System Design &amp; Construction</a>
	原子炉システムの運転及び保守	<a href="#">Nuclear Reactor System Operation &amp; Maintenance</a>
	核燃料サイクルの技術	Nuclear Fuel Cycle
	放射線利用	Radiation Application
	放射線防護	Radiation Protection
21.Comprehensive Technical Management (総合技術監理部門)		

技術士技術部門と旧選択科目の参考英訳については日本技術士会ホームページを参照して下さい。

それ以外の技術部門・選択科目の英訳は上記を参考にして申請者各自が英訳して下さい。

#### お問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル8階

社団法人 日本技術士会

事業部 EMF エンジニア・モニタリング委員会事務局

Tel : 03-3459-1331 Fax : 03-3459-1338